

(様式 7)

記入例

令和 8 年 2 月 7 日

岡 山 県 知 事
伊 原 木 隆 太 殿

日付は、書類提出締切日（2 月 13 日）より前の日付
を記入してください。

所 在 地 〒123-4567

岡山県岡山市北区〇〇101-1

団 体 等 名 特定非営利活動法人〇〇〇〇〇〇

代表者職名 代表理事

氏 名 △△ △△△

令和 7 年度「社会教育関係団体による地域パワーアップ事業」報告書

令和 7 年 △ 月 △ 日付け 生社第〇〇〇号で委託を受けた「社会教育関係団体による地
域パワーアップ事業」における事業の実
施期間

実施期間は委託開始日から事業実施終了日（1
月 23 日）以前の日付を記入してください。

委託事業の実施期間 令和 7 年 ○ 月 ○ 日から令和 8 年 1 月 1 5 日まで

委託事業実施に要した経費総額

280,000 円

うち県委託額

200,000 円

	申請時の計画額	実績額	差額
県委託額における実績	200,000 円	200,000 円	0 円

「県委託額における実績」は、県が委託する対象経費（20 万円以内）
について、計画額・実績額・差額を記載してください。

○事務担当者連絡先

担当者氏名 □□ □□

所 属 特定非営利活動法人〇〇〇〇〇〇

住 所 〒123-4567 岡山県岡山市北区〇〇101-1

電 話 012-345-6789

F A X 012-345-0000

E - m a i l NP0houjin@××××.××.××

(様式8)

成 果 報 告 書

1. 事業実施スケジュール ※事業実施終了日（1月23日）までの内容を記載してください。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	(2月)
実行委員会		○		○			○		
準備		←————→							
事業実施				○	○	○			

2. 連携した団体・NPO法人等

※活動プログラム開発や実施にあたり、連携した団体等があれば記入

○○地区コミュニティ協議会

NPO 法人○○○○

△△高校・○○大学（ボランティアの参加）

募集の方法と参加者に対してどのような効果があったのかについて、記載してください。

3. 参加者募集の方法

※募集の方法とその効果を記入

- ・チラシ（地域にある小学校や児童館、公民館等での掲示・配付を依頼したことで、保護者や子どもたちの関心が高まり、応募があった。）
- ・ホームページ（スマホにより情報を検索する保護者が多いため、新規・リピーターともにホームページを見ての応募があった。）
- ・Facebook（当団体の事業に参加したことがあるリピーターへの周知に効果があった。）

4. 今年度実施した活動プログラムによる成果や課題

※設定した評価の観点・評価方法により出た結果を分析し、記載

参加者の振り返りでは、……また、記録カード、事後アンケートでは、……
といった記述があり、……といった成果があった。課題としては……
構成員の振り返りでは……といった意見があり、……が課題であることが分かった。

活動プログラムの中で設定した評価により出た結果を分析してください。出てきた成果や課題を、様式9の「活動プログラム」に反映し、完成させてください。

(様式9)

活動プログラム

団体名 (特定非営利活動法人〇〇〇〇〇〇)

1. 事業内容

☐ 子どもたちの生活習慣や学習習慣の確立に関する活動
☐ 不登校（傾向）児童生徒対象の体験活動
☒ 自然体験、生活体験、社会体験に関する活動
☐ 家庭教育支援に関する活動
☐ 地域課題の解決に関する活動
☐ 地域人材の育成に関する活動

※複数選択可

2. 活動プログラム名

「	地域 みんなが先生！～ふるさとで野外活動を楽しもう～	」
---	----------------------------	---

3. 目 標（ねらい）

※プログラムを通して、参加者に身に付けさせたい力、はぐくみたい姿等
課題を解決する活動を通して、仲間と協力するために行動したり、他者の気持ちを
考えて自分の意見を伝えたりする力を育てる。

4. 活動計画

活動計画

回数	活動内容・講師・参加人数・会場等	評価方法
第1回	★プログラムの効果的な実施に向けて、関係者で活動の目標や参加者への関わり方について共通理解を図る。 ・活動内容：講師〇〇〇〇氏による講話・ワークショップ ・対象：団体の構成員、地域の関係者、活動に関わる指導者 ・参加人数：〇名 ・会場：〇〇公民館	◆野外活動における指導の留意点や目標を共有し、子どもたちへの関わり方について理解している。 （事後アンケート）
第2回	★課題を解決する活動を通して、仲間と協力するために行動したり、他者の気持ちを考えて自分の意見を伝えたりする力を育てる。 ・活動内容：ウォークラリー ・対象：小学校3年生～6年生の児童 ・参加人数：30名 ・会場：〇〇市△△体験センター	◆課題を解決する活動を通して、仲間と協力するために行動したり、他者の気持ちを考えて自分の意見を伝えたりしている。 （行動観察・記録カード・事後アンケート）

第 3 回	★・・・・・・・・ ・活動内容：デイキャンプ ・・・・・・・・	◆・・・・・・・・ (・・・・・・・・)
-------------	---------------------------------------	-------------------------

5. 展 開

回 時間	内 容	「4. 活動計画」を踏まえて各回における活動内容等を記載してください。 様式8の「成果報告書」で記載した成果や課題を基に、 活動内容、準備物、留意点、評価の観点、評価方法等を見直し、完成させてください。 枠は必要に応じて増やしてください。		
【第1回】 5分	講話・ワークショップ 【導 入】 ○趣旨説明・ねらいの確認			
60分 45分	【活 動】 ○講話「野外活動を通した子どもへの関わり方」 講師○○○○氏 ○ワークショップ ・グループに分かれる ・自己紹介・アイスブレイク ・活動プログラムの目標（子どもに身に付けさせたい力）を共有し、それに向けてどのような活動や手立てができるのかをグループで話し合う。	・講話資料 ・ホワイトボード ・付せん ・模造紙 ・マーカー ・ワークシート ・名札	・進行：団体の構成員 ・話し合いのルールを確認する。 ・ラベルワークにより意見を出しやすくする。	◆野外活動における指導の留意点や目標を共有し、子どもたちへの関わり方について理解している。 （事後アンケート）
10分	【振り返り】 ○全体共有 ・グループで出た意見を全体で共有する。 ・まとめ	・事後アンケート		

【第2回】 10分	ウォークラリー 【導 入】 ○趣旨説明・活動の確認 ・活動のめあての共有 ・グループ分け (4～6名程度) ・ルール(制限時間・チェックポイントの課題に対する得点について)を確認 ・コース図の確認	【団 体】 ・グループ分け名簿 ・ルール説明資料 ・コース図 ・バインダー ・ストップウォッチ ・課題用紙 ・解答用紙 ・救急セット	「留意点」には、次のことを記載してください。 ①対象者(参加者)を目標とする姿に育むための手立て ②予想される対象者(参加者)の行動や反応に対する指導者やスタッフの支援の仕方 ③その他、活動する上で配慮が必要なこと
60分	【活 動】 ○スタート・グループ行動 ・各グループ3～5分程度、間隔を空けてスタートする。 ルール説明資料	【参加者】 ・帽子 ・水筒 ・タオル ・筆記用具 ・雨具	・安全面で配慮が必要な場所やチェックポイントにスタッフを配置する。 ・一人では解決が難しい課題を用意し、子ども同士が自ら話し合いながら解決できるようにする。大人は先回りをせず、見守る。
活動で使用する資料や活動プログラムを行っている様子の写真を貼付してください。 (※活動で使用する資料は別紙で付けていただいても結構です。)			
○課題の内容 ① ②		プログラムの目標達成を測るための評価を設定してください。 対象者のどのような発言や行動に注目すればよいのかを明確にし、評価の観点や評価方法を設定することが大切です。	

◆課題解決が必要な場面で、仲間と協力するために行動したり、他者の気持ちを考えて自分の意見を伝えたりしている。
(行動観察・記録カード)

20分	【振り返り】 ・ 順位の発表 ・ グループごとに振り返りをして、記録カードに記入する。 ・ スタッフから、活動の中で子どもたちの良かった行動や発言を紹介して価値づける。	・ 集計表 ・ 記録カード		◆活動のめあてに 対して自分の行動を振り返り、今後の生活に生かそうとしている。 （行動観察・記録カード）
【第3回】 〇分	デイキャンプ 【導入】			